

日中韓・アスベスト国際学術会議 プログラム案内 (0306公開)

2015年3月7日(土)・8日(日)

主催:立命館アスベスト研究プロジェクト

http://www.ritsumei.ac.jp/~nannkuro/RARP_asbestos_index.html

日英同時通訳、参加無料・事前申込制(上記HP上で案内しています)

会場:立命館大学衣笠キャンパス内

603-8577京都市北区等持院北町56-1 (最寄りバス停は「立命館大学前」)

第1日目 3月7日(土) 会場:以学館2号ホール

12:00	開場・受付開始
13:00 (13:10~17:00)	開会挨拶 研究プロジェクト代表 森 裕之(立命館大学政策科学部・教授) 第1セッション「アスベスト問題の現状と課題 -アジアと日中韓」
13:10	招待講演1「韓国のアスベスト災害と研究動向の現状」 カン・トンムク(釜山国立大学医学部・准教授、韓国アスベスト災害・環境健康センター・所長)
	招待講演2「日本のアスベスト災害の現況と課題」 森永謙二(環境再生保全機構・顧問医師)
	休憩
	招待講演3「アジアのアスベスト問題」 村山武彦(東京工業大学大学院総合理工学研究科・教授)
	基調講演「アスベスト災害予防のあり方-平常時と震災時にどう対応するか-」 小幡範雄(立命館大学政策科学部・教授)
17:30	懇親レセプション(学内レストラン・カラム) ※一般申込の方もご参加頂けます。

第2日目 3月8日(日) 会場:末川記念会館講義室

9:00 (9:30~12:30)	開場・受付開始
9:30	第2セッション「アスベスト問題の様々な局面と政策課題」 発表1「政府・自治体のアスベスト政策」 平岡和久(立命館大学政策科学部・教授)
	発表2「日本の建設アスベスト問題」 石原一彦(立命館大学政策科学部・教授)
	発表3「韓国におけるこれまでのアスベスト環境汚染地域」 キム・ジュヨン(釜山国立大学・研究教授)
	発表4「過去の韓国を対象としたアスベストの職業曝露表(JEM)分析」 リー・ヒュンヒ(釜山国立大学、韓国アスベスト災害・環境健康センター・研究員)
	休憩
	発表5「泉南最高裁判決 判決内容、意義と今後の課題」 村松昭夫(弁護士、大阪アスベスト弁護団)
	発表6「明日をつなぐ出会い」から10年 いまだに続く被害の拡がり」 古川和子(中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会)
	発表7「阪神・淡路大震災20年とアスベスト問題」 南慎二郎(立命館大学・非常勤講師)
12:30	昼休憩
(13:30~15:00)	最終セッション「今後のアスベスト研究の展開をめぐって」
13:30	招待講演「中国のアスベスト災害と公的規制の現状」 リ・タオ(中国疾病予防コントロールセンター中毒コントロールセンター・所長)
	パネル・ディスカッション 総合討論 コーディネーター:森 裕之(立命館大学政策科学部・教授)
15:00	閉会挨拶

※プログラム変更についてのお知らせ。

当初、7日の講演予定の中国のリ・タオ先生ですが、諸事情により8日のみのご出席となりました。そのため、一部の講演・報告順番が変更となっております。なにとぞご了承ください。